



発行所▶大阪府グラフィックサービス協同組合
コスモス会
編集責任▶コスモス会事務局

情報部会

げんきな かいしゃ ハグルマ封筒さんに 伺って



7月23日(土)コスモス会情報部会は、株式会社ハグルマ封筒への会社見学を行った。昨年7月、松原市から堺市へ移転された新社屋を拝見したいと、21名のメンバーが参加した。

2時から3時までの約1時間、杉浦社長と今村執行役員のお話をうかがったあと、3グループに分かれて工場を詳しく案内していただいた。移転前の4拠点を一箇所に集中することにより、固定費の削減、サービスの強化、働きやすい職場づくりを実現できたとのこと。特に職場環境の素晴らしさには、エントランスに入ったとたん、はやくも歓声やため息がもれた。

また、封筒の歴史では150年前のイギリスに始まり直近の動向まで、縦書き文化の日本における和封筒の衰退など、形状にそって用途を分かりやすく解説いただいた。なんでもそうだが、提案するときはそのルーツを知った上で行う必要があるとの言葉には、杉浦社長の実力に裏打ちされた説得力があった。心斎橋や表参道に展開されている店舗「ウイングド・ウィール」は今年で10周年とのこと。そのコンセプトは「人と人をつなぐ『紙』を大切な



創業の歴史からの説明をされる杉浦社長



◀そうめん体験に参加のメンバー

コミュニケーションの道具と考え、送る人と、受けとる人のあいだに『楽しさ』や『心の潤い』を生み出すような手紙用品を提供すること」だそうです。同じく『紙』を扱うなかで状況が厳しいと嘆く私たちは、なにやら励ましを受けた気分です。『楽しく』『潤って』帰途につきました。

木原由美子



◀毎朝社員を出迎えるイラスト

サロン部会

ものづくりの原点に触れて

7月2日(土)朝、近鉄上本町駅にて集合。私にとっては久しぶりとなるコスモス会のイベント(?) 参加で、行き電車の中は、おしゃべりに夢中でした。

(株)三輪山勝製麺所の工場に到着。まず体育館のような天井の高さ、空調用のダクトの巨大さにびっくり。山下勝山社長の説明で、こちらでは薄力粉(揖保の系等は強力粉)を使って、なめらかな舌触りを追求していること、また微妙な熟成時間についてなど、もの作りに対するこだわり、深い思いをお聞きしたあと、まずは試食(といっても、みなさんお腹いっぱいになったようです)で腹ごしらえ、体験にそなえます。

いよいよテレビの季節の中間などでよく見る、すだれをたらしたようなそうめん伸ばし作業の体験です。少しづつ伸ばして中間の穴に差し込み、大きなお箸で広げます。すだれのようにきれいに広げたら、またすこしずつ伸ばして台の下側にある穴に入る長さまでひろげて完成です。(この麺をそれぞれおみやげに頂きました。)

この作業をするタイミング、熟成の時間がとても大事で、私たちの体験に合わせて用意して下さった麺よりも時間の短いものを1つ試させて

頂きましたが、途中で切れてしまつてうまくいきませんでした。

私たちの体験の脇では、工場のプロが手際よく作業をしていました。そのそうめんのすだれをバックに社長さんを囲んで記念撮影。もちろんおみやげもたくさん買い込みました。とても楽しい体験でした。企画を下されたサロンの皆様ありがとうございました。

兵頭 和代

一筆箋

最近の話題と言えば、地震、放射能などなど色々暗い話題が多いですが、「なでしこジャパン」の活躍には楽しませていただきました。

話題になるまで、恥ずかしながら運動は見るのも、するのも、あまり好きではない私は、存在すら知りませんでした。しかし、テレビなどで働きのながらサッカーを続けている姿を知ったのもあります。が、好きなものを続けていく勇氣とたくましさを感じ、にわかファンですが、応援気分になっていきます。今後は観戦だけは他のスポーツもしようかな。と思っております。

「頑張れ、日本!」

柴 美花子

次回 は鈴木 裕香さんです。